

2016年 4月

小樽明峰高等学校

2015年度「学校評価」に関する調査報告

本校は、2012年度から教育実践の向上を目指して「学校評価」の一環として、教職員、生徒、保護者を対象にアンケートを実施し、次年度の学校運営に生かしてきました。

(1) 取り組むべき課題

この年度は、「2015年度学校運営方針」に沿い、これまでの実績を踏まえて、以下の23項目を取り組むべき課題として確認しました。(③と⑯については、教職員のみを対象とする。)

学校運営 全 般	①	「生きる力としての総合的な能力を育てる学校、人間教育をつらぬく学校」という教育精神に基づいて、教育活動を推進する。
	②	学校全体に活気があり、明るく楽しい雰囲気を作り上げる。
	③	校務分掌について、責任体制が明確で、適切に機能できるようにする。
生 活	④	ルールやマナーの大切さを理解し、身につけるように指導する。
	⑤	きちんとした挨拶が出来るよう心がけて指導する。
	⑥	生徒の悩みや相談に親身に対応する。
	⑦	生命や人権・平和を尊重する考え方が身に付くよう指導する。
教育内容	⑧	一人ひとりが大切にされ、他人も大切に出来るよう指導する。
	⑨	この地域に協力し、特色のある教育活動を行う。
	⑩	分かりやすく、生徒が興味を持てる授業を行う。
	⑪	家庭学習の習慣が身につけられるよう指導する。
健 康	⑫	生徒の将来の進路や職業について十分に指導する。
	⑬	生徒の体調に気をつけ健康に関する指導を行う。
	⑭	生徒の体力向上に努める。
学校づくり	⑮	「食」に関する教育を意識的に行う。
	⑯	生徒が安全に過ごせるように配慮して指導する。
	⑰	学校の様子は、「通信」やホームページなどで広く知らせて行く。
生活環境	⑱	保護者（PTA）との連携を大切に、協力し合って進めて行く。
	⑲	研修等を充実させ、教職員の資質向上を目指す。
	⑳	学校の施設や設備について、良く整備された状況を保つ。
総合評価	㉑	売店の運営によって生徒の食生活を改善して行く。
	㉒	生徒が制服に愛着を持ち、規則に従って着られるよう指導する。
	㉓	生徒や保護者が、明峰の教育活動に対して総合的に満足できるように務める。

(2) アンケート調査の実施

アンケートに当たっては、それぞれの項目について質問形式とし、5項目から該当するものを1つ選択する方法をとりました(1. とてもそう思う 2. そう思う 3. どちらとも言えない 4. そう思わない 5. 全くそう思わない)。又、以下の4項目について自由に文章化して記入してもらった事としました。

(1) 教育活動全般について話題にしたいこと (2) 授業・学習・カリキュラムなどについて話題にしたいこと (3) 学校の施設や設備について話題にしたいこと (4) その他、全般で話題にしたいこと。これらについては、すでに項目別に一覧表化して全教職員に配布。この「報告」には含みませんが、今後継続して検討して行きます。

(3) アンケート調査の結果とその傾向

結果は、最終ページに〈資料－1〉～〈資料－4〉として示した通りです。

1) 〈資料－1〉

●大きな傾向を掴むために、調査項目③の「明峰高校の教育活動全体について、総合的に満足している。」という質問に関わって、教職員、生徒、保護者それぞれ集計の合計数字を円グラフで表示したものです。

●「とてもそう思う」「そう思う」を合わせると、教職員の自己評価が59%、生徒が61%と近い評価をしています。取り組みが一定効果的に受け止められていると評価して良いでしょう。しかし、6割というのは決して高い数字ではありません。一方で、保護者では、それが81%に達しています。これは、後の資料から読み取れる保護者と教職員との連携に対する評価が大きく影響していると考えられます。しかし、生徒の回答には「そう思わない」と「全く思わない」を合わせて10%以上も含まれていることは今後の課題として押さえておかなければならないでしょう。

2) 〈資料－2～4〉(教職員・生徒・保護者)

●この集計から大きく前進している面として、教育の基本方針や学校内の雰囲気と言った、全般に関わった部分が上げられる。全ての教育活動の1つの成果として評価して良いでしょう。

●「挨拶やマナー」の面で、ここ数年徐々に取り組みの成果が現れ、評価として上がってきています。これまでの取り組みの方向が正しかったことの表れでしょう。

●先にも話題にした、保護者との協力関係については大きく評価されている。今後も教育実践の大きな柱として継続して行く必要があります。

●「進路」に関わる面については、取り組みが進む中で、教職員側・生徒側ともに評価が上がっている一方で、保護者の側としては、まだ十分に受け止められていないと見られます。

●最も大きな話題として上げられるのが、「家庭学習」に関わる項目です。教職員、生徒、保護者共に不十分として捉えていることが数字に表れています。これ以降も、最も重要な課題点として取り組みを進めて行くことが求められています。

●同じような面が、施設設備の面でも見られます。旧校舎・本館・新校舎共に生徒、教職員の安全面にも考慮しつつ、将来的なビジョンを描く時期に来ています。一方で、古い校舎も大事に使い残して行きたいという声をどのように生かして行くか。これも重要な視点です。

●ここ数年、生徒の「健康」や「食」に関わる指導を意識して実践してきました。教職員側の意

識と生徒・保護者の捉え方にまだ少なからずズレがあるように感じられます。

●「命や人権、平和」と関わって、選挙権が18歳以上に引き下げられたことも十分に意識しながら、新しい実践を・取り組みを探る必要があると思います。

(4) 今後の実践と学校運営について

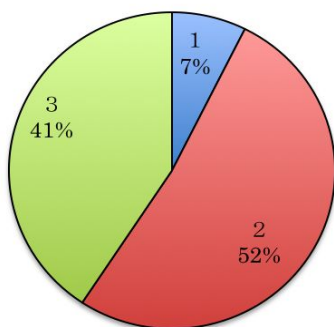
今回、調査結果の一部を例に「概括」として報告させて頂きました。2016年度の教育実践や学校運営に生かさなければならぬ課題が、ある程度見えてきたように思います。今後、これらのデータをさらに検討することで、具体的な取り組みとして積み上げて行くことが要請されています。ぜひ、忌憚のないご意見をいただければと思います。

小樽明峰高等学校
校長 戸島 哲也

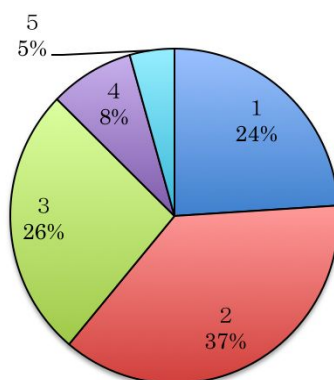
※以下、資料

<資料一①>

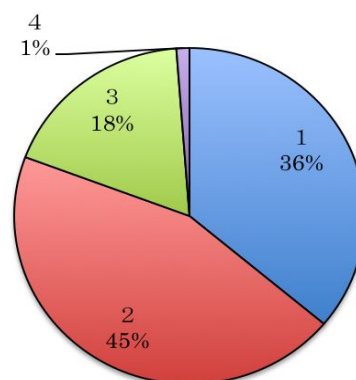
(1) 教職員合計



(2) 生徒合計



(3) 保護者合計



＜資料一②＞ 教職員合計

項 目	番 号	1		2		3		4		5	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
学校の様子	①	1	3.7	18	66.6	7	25.9	1	3.7	0	0
	②	2	7.4	14	51.8	9	33.3	2	7.4	0	0
	③	1	3.7	11	40.7	8	29.6	7	25.9	0	0
生 活	④	2	7.4	16	59.2	5	18.5	4	14.8	0	0
	⑤	5	18.5	17	62.9	4	14.8	1	3.7	0	0
	⑥	7	25.9	15	55.5	5	18.5	0	0	0	0
	⑦	4	14.8	15	55.5	8	29.6	0	0	0	0
	⑧	5	18.5	18	66.6	3	11.1	1	3.7	0	0
教育内容	⑨	5	18.5	12	44.4	8	29.6	2	7.4	0	0
	⑩	4	14.8	17	62.9	5	18.5	1	3.7	0	0
	⑪	0	0	2	7.4	10	37.0	12	44.4	3	11.1
	⑫	6	22.2	16	59.2	5	18.5	0	0	0	0
健 康	⑬	1	3.7	18	66.6	8	29.6	0	0	0	0
	⑭	0	0	19	70.3	8	29.6	0	0	0	0
	⑮	1	3.7	7	25.9	17	62.9	2	7.4	0	0
学校づくり	⑯	2	7.4	17	62.9	7	25.9	1	3.7	0	0
	⑰	1	3.7	10	37.0	14	51.8	2	7.4	0	0
	⑱	3	11.1	21	77.7	3	11.1	0	0	0	0
	⑲	1	3.7	7	25.9	16	59.2	2	7.4	1	3.7
生活環境	⑳	0	0	2	7.4	13	48.1	10	37.0	2	7.4
	㉑	0	0	8	29.6	12	44.4	6	22.2	1	3.7
	㉒	0	0	14	51.8	10	37.0	2	7.4	1	3.7
総合評価	㉓	2	7.4	14	51.8	11	40.7	0	0	0	0

<資料一③> 生徒合計

項 目	番 号	1		2		3		4		5	
		とてもそう思う		そう思う		どちらとも言えない		そう思わない		全くそう思わない	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
学校の様子	①	49	21.3	87	37.9	73	31.8	12	5.2	8	3.4
	②	73	31.8	84	36.6	52	22.7	12	5.2	8	3.4
	⑧										
生 活	⑨	60	26.2	83	36.2	64	27.9	16	6.9	6	2.6
	⑩	65	28.3	86	37.5	62	27.0	8	3.4	8	3.4
	⑪	55	24.0	96	42.7	63	27.5	6	2.6	9	3.9
	⑫	49	21.3	89	38.8	74	32.3	7	3.0	10	4.3
	⑬	54	23.5	94	41.0	61	26.6	11	4.8	9	3.9
教育内容	⑭	62	27.0	82	35.8	69	30.1	7	3.0	8	3.4
	⑮	57	24.8	89	38.8	61	26.6	15	6.5	7	3.0
	⑯	38	16.5	71	31.0	78	34.0	23	10.0	19	8.2
	⑰	68	29.6	98	42.7	51	22.2	8	3.4	4	1.7
健 康	⑱	51	22.2	84	36.6	71	31.0	18	7.8	5	2.1
	⑲	50	21.8	89	38.8	74	32.3	10	4.3	6	2.6
	⑳	40	17.4	77	33.6	82	35.8	20	8.7	9	3.9
学校づくり	㉑	53	23.1	80	34.9	79	34.4	9	3.9	8	3.4
	㉒	49	21.3	83	36.2	73	31.8	13	5.6	11	4.8
	㉓	51	22.2	75	32.7	88	38.4	8	3.4	7	3.0
	㉔										
生活環境	㉕	35	15.2	77	33.6	78	34.0	26	11.3	13	5.6
	㉖	42	18.3	78	34.0	75	32.7	20	8.7	14	6.1
	㉗	56	24.4	68	29.6	82	35.8	18	7.8	5	2.1
総合評価	㉘	55	24.0	85	37.1	60	26.2	19	8.2	10	4.3

<資料一④> 保護者合計

項 目	番 号	1		2		3		4		5	
		とてもそう思う		そう思う		どちらとも言えない		そう思わない		全くそう思わない	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
学校の様子	①	18	21.6	41	49.3	22	26.5	2	2.4		0
	②	22	26.5	42	50.6	16	19.2	3	3.6		0
	⑬										
生 活	⑭	18	21.6	37	44.5	18	21.6	9	10.8	1	1.2
	⑮	17	20.4	38	45.7	27	32.5	1	1.2	1	1.2
	⑯	23	27.7	36	43.3	17	20.4	5	6.0	2	2.4
	⑰	15	18.0	23	27.7	16	19.7	3	3.6		0
	⑱	21	25.3	36	43.3	19	22.8	7	8.4		0
教育内容	⑳	29	34.9	37	44.5	17	20.4		0		0
	㉑	20	24.0	41	49.3	20	24.0	2	2.4		0
	㉒	9	10.8	20	24.0	41	49.3	12	14.4	1	1.2
	㉓	18	21.6	31	37.3	30	36.1	4	4.8	1	1.2
健 康	㉔	14	16.8	37	44.5	29	34.9	3	3.6		0
	㉕	13	15.6	26	31.3	32	38.5	2	2.4		0
	㉖	7	8.4	25	30.1	47	56.6	3	3.6	1	1.2
学校づくり	㉗	15	18.0	50	60.2	16	19.7	2	2.4		0
	㉘	20	24.0	44	53.0	16	19.7	3	3.6		0
	㉙	26	31.3	42	50.6	12	14.4	2	2.4	1	1.2
	㉚										
生活環境	㉛	10	12.0	36	43.3	28	33.7	7	8.4	2	2.4
	㉜	8	9.6	17	20.4	49	59.0	8	9.6	1	1.2
	㉝	14	16.8	40	48.1	24	28.9	4	4.8	1	1.2
総合評価	㉞	30	36.1	37	44.5	15	18.0	1	1.2		0

以 上